

## 2022 年度事業計画

### 1. 学術大会、学術講演会、研修会、研究会等開催

#### 1) 第 39 回学術大会の開催

大会長：梶本浩史理事（東京都公立学校スクールカウンセラー）

日 程：2022 年 3 月 19 日 - 21 日

方 法：オンライン開催

#### 2) 研修会等の開催

##### 【教育研修委員会】

##### (1) 第 34 回研修会（春の研修会）

日 程：2022 年 6 月 26 日

場 所：北海道札幌医科大学（予定）

内容等：体験グループ、初心者グループ、事例検討

##### (2) 第 35 回研修会

日 程：2022 年 10 月予定

場 所：未定

内容等：体験グループ、事例検討、入門講座

##### (3) オンラインによるショートレクチャー（会員用）

日 程：未定

方 法：オンライン開催

内容等：未定

##### 【相互支援委員会】

##### (1) 「災害とメンタルヘルスに関する相互支援グループ」の開催

第 3 回 2022 年 3 月 19 日（オンライン）

日本集団精神療法学会第 39 回学術大会 大会企画ワークショップ

第 4 回 2022 年 6 月予定（オンライン）

第 5 回 2022 年 10 月予定（東京 or オンライン）

##### (2) その他の研修会：相互支援委員会協賛

「災害について語るグループ」主催研修会

2022 年 2 月 11 日（オンライン）

### 2. 集団精神療法及び各種集団を用いた治療的・教育的方法の理論とその応用に関する研究

相互支援グループの検証研究の実施、論文投稿（予定）

### 3. グループサイコセラピスト育成と認定

#### 【教育研修委員会】

##### 1) CGS ミーティングの開催

第 39 回学術大会、第 35 回研修会にあわせて 2 回を予定

##### 2) 委員会の開催

オンラインでの開催を含めて適宜行う

##### 3) 認定と登録

申請に応じて審査、登録

##### 4) 教育研修システム要項の変更

適宜行う

### 4. 学会誌及びニュースレター、インターネット等による情報提供

#### 【編集委員会】

- 1) 「集団精神療法」38巻1号(6月)、38巻2号(12月)の刊行
- 2) 「集団精神療法」39巻1号(2023年6月)、39巻2号(2023年12月)の準備
- 3) 委員会の開催  
年3回を予定(1月、5月、9月)

#### 【広報委員会】

- 1) 広報委員会の開催  
年3回を予定
- 2) 公式ウェブサイト
  - (1) 管理運営、各委員会からの情報掲載、会員パスワードの更新を継続する。
  - (2) 「リレーコラム」は、幅広い層の興味関心を引き付けるよう新展開していく。
  - (3) 「各地の研究会」の掲載基準を明確にし、最新情報を掲載できるよう更新を促していく。
  - (4) 利便性向上やコンテンツの充実のために必要な更新を行う。
  - (5) 動画やSNSを活用して発信力をさらに高めていく。
  - (6) 学術大会ホームページと広報活動の連動を円滑に促していく。
  - (7) 閲覧状況を分析し、利用活性化に生かしていく。
- 3) 電子版ニュースレター
  - (1) 会員相互の情報共有を目的として年2回発行する。
  - (2) 会員に一斉メールで添付送信し、同時に会員ページから閲覧できるようにする。
  - (3) ウェブ化の利点を生かした企画を検討する。
- 4) その他  
学会パンフレットの活用を促進する

#### 5. 国内外関連団体との連携及び研究協力

##### 【国際委員会】

- 1) 委員会の開催  
年2回委員会を開催する。
- 2) IAGP 理事会  
年数回のオンライン開催に加え、2022年7月はイタリア・ペスカーラ  
出席予定者：西村馨、前田潤
- 3) IAGP 組織団体協議会(CAOA)  
2か月に1回(オンライン開催)  
出席予定者：古賀恵里子  
2022年7月(イタリア・ペスカーラ)  
出席予定者：古賀恵里子

##### 【渉外委員会】

- 1) 渉外活動ワーキンググループ(以下、WGと表記)
  - ・引き続きWGを開催し、渉外活動について検討する。
  - ・ニュースレターなどを活用し、会員に向けて情報発信する。
- 2) 渉外活動関連団体事業への参加
  - ・精神保健従事者団体懇談会定例会に参加する
  - ・その他関連事業や団体と情報交換する。
- 3) 第39回学術大会ワークショップ
  - ・今後の渉外活動を展開するに際して、会員自身が集団精神療法の魅力を考える場として委員会企画のワークショップを開催する。

#### 6. その他学会の目的を達成するために必要な事業

##### 【代議員会・理事会・学会総会】

- ・2022年度代議員会

2021 年度事業報告・決算報告・監査報告および 2022 年度事業計画・予算案の承認

日程：2022 年 3 月 13 日

方法：オンライン開催

・第 1 回理事会

2021 年度事業報告・決算報告・監査報告および 2022 年度事業計画・予算案の作成

日程：2022 年 2 月 27 日

方法：オンライン開催

・第 2 回理事会

日程：2022 年 5 月 15 日

方法：オンライン開催

・第 3 回理事会

日程：2022 年 7 月 31 日

方法：対面開催（状況によりオンライン開催）

・第 4 回理事会

日程：2022 年 9 月 25 日

方法：オンライン開催

・第 5 回理事会

日程：2022 年 12 月 11 日

方法：対面開催（状況によりオンライン開催）

・2022 年度総会

2021 年度事業報告・決算報告・監査報告および 2022 年度事業計画・予算案の報告

日程：2022 年 3 月 19 日

方法：オンライン開催

【組織委員会】

1) 委員会の開催

- ・ワーキンググループで年 3 回程度を予定している。
- ・日程や開催方法は感染状況及び検討状況を踏まえて判断する。
- ・法人化後の規定類の整備が必要な状況において、役員改選プロセスに関する定款、細則、規程等の整備を検討することを目的とする。
- ・選挙規定等の検討においてはスケジュールを立てて進める。
- ・選挙規定に関しては、決め方として理事会なのか代議員会なのかは確認する。
- ・当面はメールで連絡をとり合い、必要に応じて会議を行う。

【倫理委員会】

1) 委員会の開催

年 4 回を予定（2 月、5 月、9 月、12 月）

2) 倫理綱領の改定（2022 年度内に理事会承認の予定）

3) 研究倫理ガイドラインの改定準備として資料収集

4) 大会企画 WS（「研究倫理について語る Part2」）の開催と講演録の作成

【事務局】

1) 代議員会、理事会、学会総会の開催

(1) 代議員会の開催：2022 年 3 月 13 日

(2) 学会総会の開催：2022 年 3 月 19 日 第 39 回学術大会にて

(3) 理事会：5 回開催

2) 学術大会の開催支援

(1) 第 39 回学術大会支援

2022 年 3 月・オンライン開催（1 日目・2 日目）、対面開催（3 日目）及びオンデマンド配信

(2) 第 40 回学術大会支援

3) 監査の実施

4) その他